

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」草津駅前校第2		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日 ~ 2025年 12月 14日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日 ~ 2025年 12月 14日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援の利用が多く幼児期の発達支援の経験が豊富。	情報共有を細かくしている。	個別療育の質を高めるため、支援内容の振り返りや、ケース会議を定期的実施する。
2	保護者様の説明や相談対応を大切に、安心して相談できる支援を受ける環境がある。	安心して過ごせる環境づくり。	環境面では、活動内容や配置を工夫し、子どもが集中しやすい環境づくりを進めていく。
3	保護者様と一緒に子どもの成長を見守る支援体制がある。	丁寧な言葉遣いに対応。	保護者様が相談しやすい環境づくり(声かけ、情報共有)を更に意識していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	完全な個室環境ではないため、音環境に配慮が必要な場面がある。	完全な個室での支援が難しい。	活動内容や配置を工夫し、子どもが集中しやすい環境づくりを目指す。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どものサポート教室「きらり」草津駅前校第2

公表日 2026年 2月 14日

利用児童数 32名

回収数 19名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	0	0	0	・活動内容に合わせて、大きなお部屋や個室があり、スペースが確保できていると思います。	・継続してまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17	0	0	2	・担当支援員が1.2か月で頻繁に交代した。	・採用の安定や、都度説明を行って安心できる環境を整えていく。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	2	0	2	・エレベーターがなかったり、少し声が聞こえやすい感じはあるが、自分の子供の声が聞こえて頑張っているのを感じられることは良いのかなと思います。 ・パーテーションで区切られていますが、隣の方の声は聞こえやすいと思います。	・環境設定や配置などでなるべく安心して利用できる環境を整えていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	0	0	0	・子供ができる事を見極め、本人がやる気の出るチャレンジ課題を出してくれている。 ・数字、アルファベットが大好きで、その課題をたくさん用意して下さっていますが、その他のことも徐々にできるようになってほしいと思っています。	・継続していく部分と変化していく部分を見極めながら支援を行っていくようにする。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	0	0	2		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	0	0	4		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	1	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	0	0	0	・こちらがお願いしたことを取り入れてくださったりいろいろな遊びを通して支援して下さっていると思います。 ・色々なプログラムを取り入れていただき、感謝しています。 毎回とても工夫されていて、子供もワクワクしているのが伝わります。 ・いつも色々考えて下さり、子どもも楽しんでます。	・引き続き保護者様の話をお聞きしながら支援内容を調整して行けるようにします。
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	8	2	3	6	・あまりそういう活動をしているお話を聞かないので分かりません。 ・特に望んではいないので、なくても大丈夫です。	・機会を設定出来たら共有していく。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	0	0	0			
13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	0	1	1	・支援計画を示しながらの説明はなかったように思います。	・丁寧な説明が出来るように時間を確保していく。	

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	1	3	4	・特に必要としていない。 ・困った時にアドバイスいただき、ありがたい。	・状況に応じて対応していく。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	18	0	0	1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	0	0	1	・療育後に毎回フィードバックやプログラムの説明があり、とてもよい。 ・毎回ラスト15分先生と色々話せるのでアドバイスや意見など聞いて助かっています。	・引き続き時間を設けながら話ができる環境を整えていく。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	3	3	7	・以前は保護者同士でお話をする機会があり参加したことはあるのですが、今はどういった感じになっているのかな? と思います。 ・必要ない。困っていない。 ・特に希望していないのでなくても大丈夫です。 ・そのような機会があれば是非参加してみたいです。	・校舎の状況を見ながら交流会の設定が出来るようにしていく。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	0	0	3		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15	1	0	2		
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	0	0	0			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	0	0	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	1	0	8	・わからないが、避難所が指定されているのは安心できるし良いと思う。 ・その場にいたことはないのでもどちらともいえない。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	0	0	2		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	0	0	3		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	18	0	0	0	・保育園の日でも、今日はきらり?と聞いてくることがあるので、行きたい所、楽しい所という思いがあるのだと思います。 ・優しい先生たちばかりで、とても安心して通うことができます。	・引き続き安心感を持って通所して頂けるように職員一同サポートしていく。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	18	0	0	0	・今日はきらりだよ、と伝えると、きらり行こ!と言って通っているのを、楽しみにしています。 ・毎週とても楽しみにしています。 ・自分から行く準備するくらい楽しんでます。 ・きらりに行くよ!と言うと、ニコニコして走り出すほど楽しみにしています。	・引き続き通所を楽しみにして頂けるよう職員一同取り組んでいく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	0	0	0	・大変満足しています。いつもありがとうございます。 ・通ってから、言葉が増え、表情豊かになりました。 ・大変満足しています。毎回いろいろな支援をしていただき、ありがとうございます。	引き続き支援に満足していけるよう職員間で情報共有や内容の相談など行っていく。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	こどもサポート教室「きらり」草津駅前校第2	公表日	2025年 2月 14日
------	-----------------------	-----	--------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			・直接ご意見はなく、相談支援事業所へご意見していると聞いているので話しやすい環境を設定していく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			・全員の個別面談等がないので話す機会を設定していく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・監査や内部監査で実施している。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			・どのような内容で支援計画が作成されていたのか、指導員に知らされていない方もいるので共有する時間をしっかり確保していく。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・毎朝のミーティング等でおこなっている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			・支援計画更新の際に情報共有がなされていない方もいるので一人ひとり確認して更新していけるようにしていく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・集団療育ではおこなっている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			・集団療育の場合は振り返りも適宜おこなっている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。		○		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			・作成後共有がなされていない方もいるので確認しながら進めていく。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・きらり新聞の再発行。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			・訓練が予定通り行えていないので確認しながら適宜進めていけるようにする。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・食べ物を提供していない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			